この度は、シチズンクオーツをお買い上げいただき厚くお礼申し上げます。この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

目　次

A．主な特徴

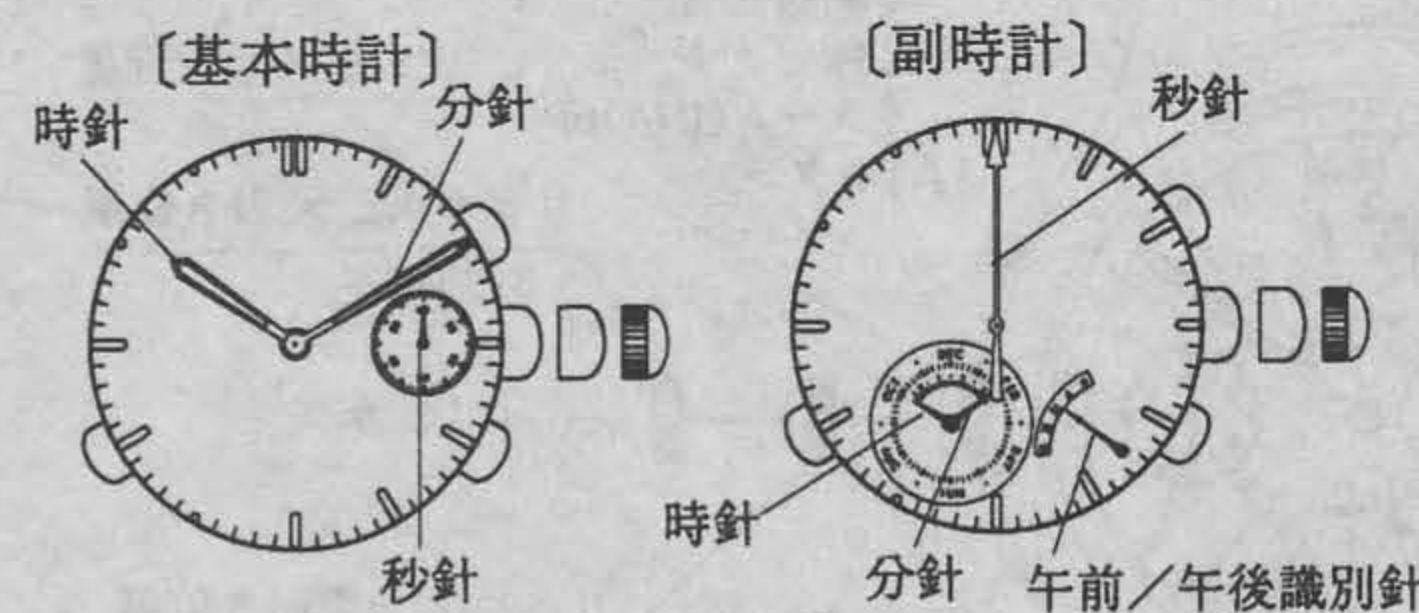
この時計は音による時刻報知機能・カレンダー機能・各種アラーム機能・ローカルタイム機能等をもった多針表示式アナログ水晶時計です。

・ボタンのワンタッチ操作で現在時刻を音で知らせる時刻報知機能
・一度カレンダーをセットすれば、その後は修正する必要のないカレンダー無修正機能
アラーム機能
・現在時刻から簡単に目的の時刻（アラームを鳴らしたい時刻）へアラームセットができ、1回鳴り終るとアラームセットは自動的に解除されるアラームI (ALARM I)
・毎日朝・昼・夜の時間帯によって鳴る音が違うデイリーアラーム (ALARM II) 機能
・ローカルタイムに連動して毎日アラームを鳴らすことができるローカルタイムアラーム (LOCAL AL) 機能
・30分単位の時差修正ができるローカルタイム機能

B．ご使用に当って

時刻合わせは、必らず副時計も！

時刻合わせは、基本時計と副時計を共に現在時刻に合わせてください。（本文「D．時刻合わせ」☞10ページ参照）

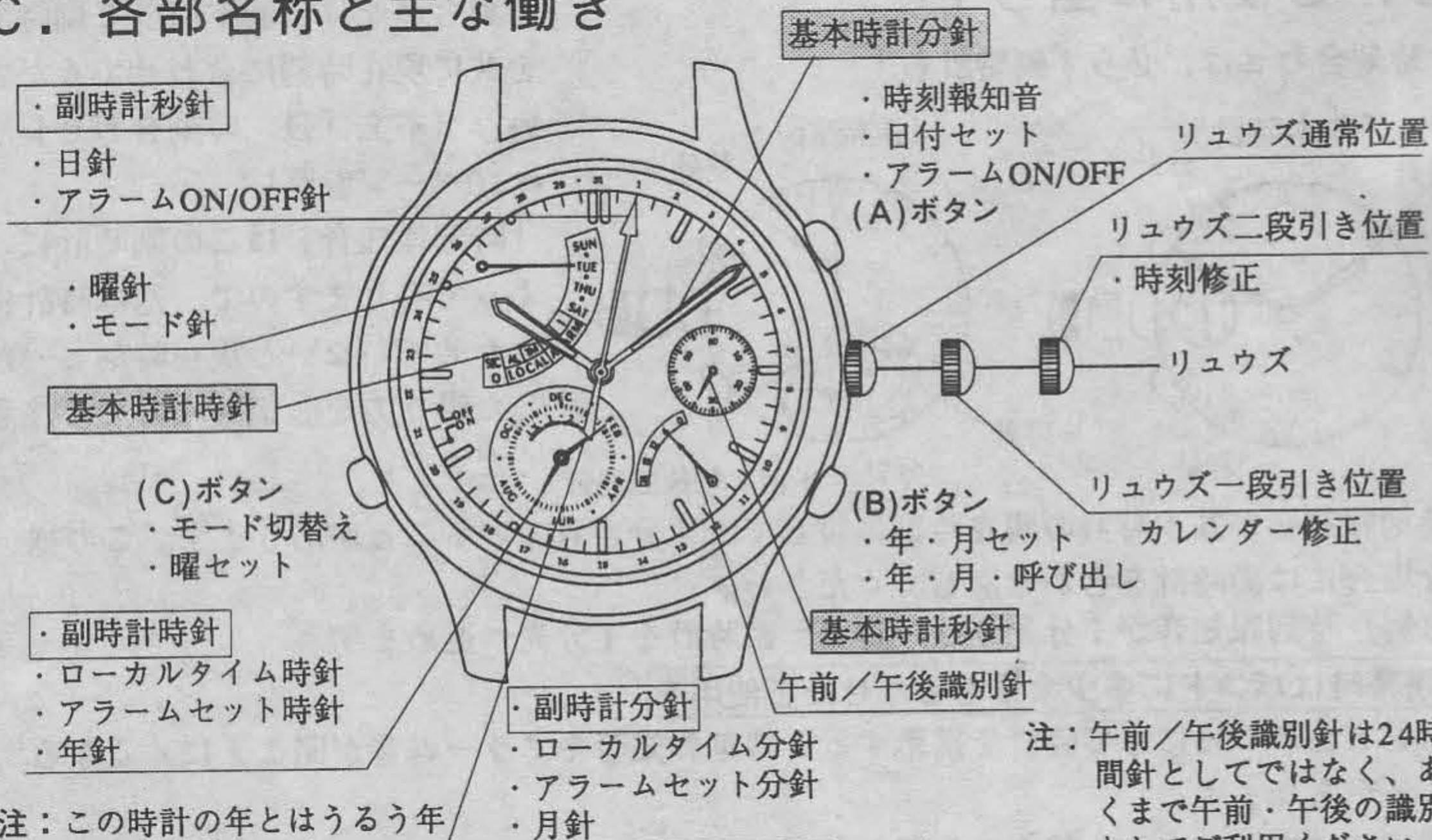
「時刻報知音」はこの副時計によって鳴りますので、基本時計に合わせていないと現在時刻と一致した鳴り方をしませんのでご注意ください。

・時刻報知音が基本時計の現在時刻に対して±1分ずれていることがあります。この様な場合には副時計を合わせ直してください。
（例）時刻報知音が1分足りない時は、副時計を1分先へ進めます。

携帯時はバンドに多少余裕をもたせたご使用を

バンドをきつめにして時計を携帯すると時刻報知音やアラーム音が聞こえにくくなることがあります。
バンドに指が一本入る程度の余裕をもたせた時計の携帯をおすすめします。

C. 各部名称と主な働き

注：午前／午後識別針は24時間針としてではなく、あくまで午前・午後の識別としてご利用ください。

注：この時計の年とはうるう年からの経過年です

各ボタンの役割り

リュウズ	モード	(A) ボタン	(B) ボタン	(C) ボタン	リュウズ回転
通常位置	通常表示	＊時刻報知音	＊カレンダー呼び出し	モード切替 ＊初期位置確認	――――
	カレンダー呼び出し	通常表示へ	通常表示へ	通常表示へ	――――
	アラームI セット	＊サウンドモニター (OFFの時) アラームキャンセル (ONの時)	アラーム時刻セット	モード切替 ＊初期位置確認	――――
	アラームII セット	ON/OFF切替 サウンドモニター	アラーム時刻セット	モード切替 ＊初期位置確認	――――
	ローカルタイム セット	――――	ローカルタイム時 刻セット	モード切替 ＊初期位置確認	――――
	ローカルタイム アラームセット	ON/OFF切替 サウンドモニター	ローカルタイムア ラーム時刻セット	モード切替 ＊初期位置確認	――――
	秒修正	秒修正	――――	モード切替 ＊初期位置確認	――――
一段引	(カレンダー 合わせ)	日修正	閏年経年・月・修正	曜修正	――――
二段引	(時刻合わせ)	副時計秒修正	副時計時・分修正	――――	基本時計 時刻修正

＊：ボタンを押し続ける（１秒以上、又は２～３秒以上）

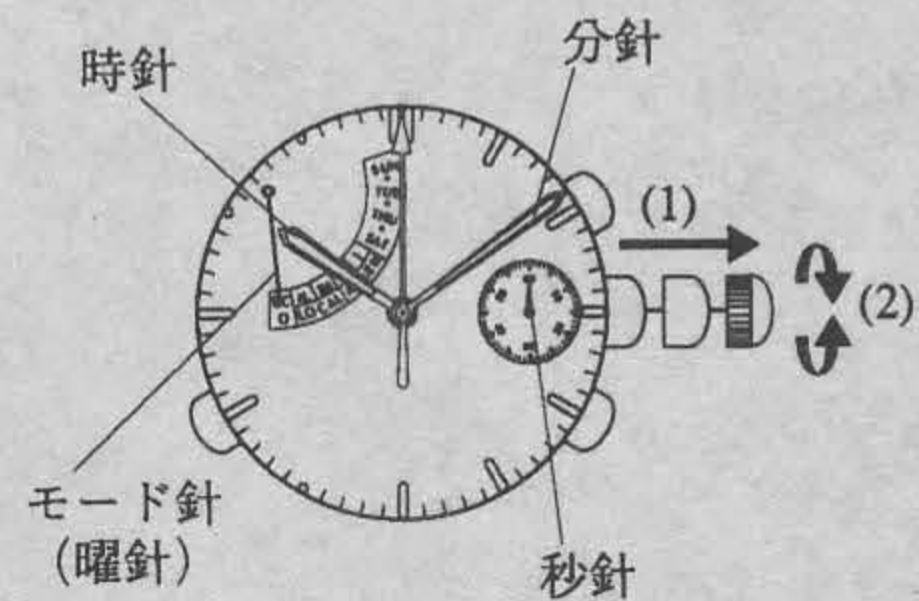
各針の役割

リュウズ	モード	基本時計　時・分・秒針	副時計　時・分針	午前／午後識別針	日　針	モード針
通常位置	通常表示	基本時計　時・分・秒	ローカルタイム 時・分	ローカルタイム 午前／午後	(基本時計) 日	(基本時計) 曜
	カレンダー呼び出し	基本時計　時・分・秒	(基本時計) 閏年経年・月	――――	(基本時計) 日	(基本時計) 曜
	アラームIセット	基本時計　時・分・秒	アラーム時・分	アラーム午前／午後	ON	ALARM I
		基本時計　時・分・秒	(基本時計) 時・分	(基本時計) 午前／午後	OFF	ALARM I
	アラームIIセット	基本時計　時・分・秒	アラーム時・分	アラーム午前／午後	ON/OFF	ALARM II
	ローカルタイムセット	基本時計　時・分・針	ローカルタイム 時・分	ローカルタイム 午前／午後	(12時位置)	LOCAL TM
	ローカルタイムアラームセット	基本時計　時・分・秒	ローカルタイム アラーム時・分	アラーム午前／午後	ON/OFF	LOCAL AL
	秒修正	基本時計　時・分・秒	(基本時計) 時・分	(基本時計) 午前／午後	(基本時計) 秒	SEC 0

リュウズ	モード	基本時計　時・分・秒針	副時計　時・分針	午前／午後識別針	日　針	モード針
一段引	カレンダー合わせ	基本時計　時・分・秒	閏年経年・月	――――	(基本時計) 日	(基本時計) 曜
二段引	時刻合わせ	基本時計　時・分・秒	時・分	(副時計) 午前／午後	(基本時計) 秒	SEC 0

D．時刻合わせ

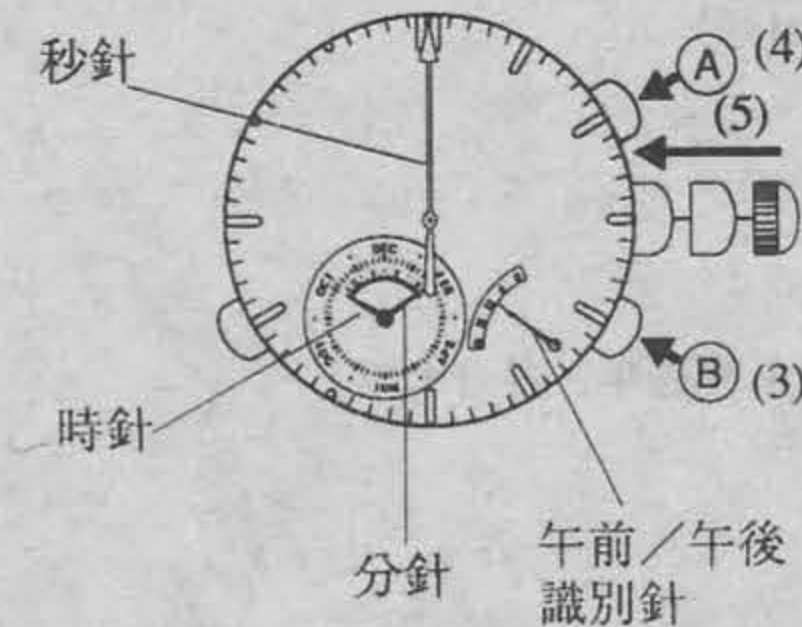
基本時計の時刻合わせを行なったら、必らず副時計も基本時計の時刻に合わせて下さい。これは、時刻報知やアラームを正しく作動させるために行なうものです。

<基本時計の時刻合わせ>

(1)秒針が0秒で停止する様にリュウズを2段引きします。

※この時モード針は "SEC 0" を示し時刻修正状態にあることがわかります。

又同時に、日針が副時計秒針に切替わって0秒位置（12時位置）に停止します。

(2)リュウズを左右いづれかに回転させて、時・分針を現在時刻に合せます。

<副時計の時刻合わせ>

(3)(B)ボタンを押して副時計の時・分針を基本時計の時刻に合わせます。

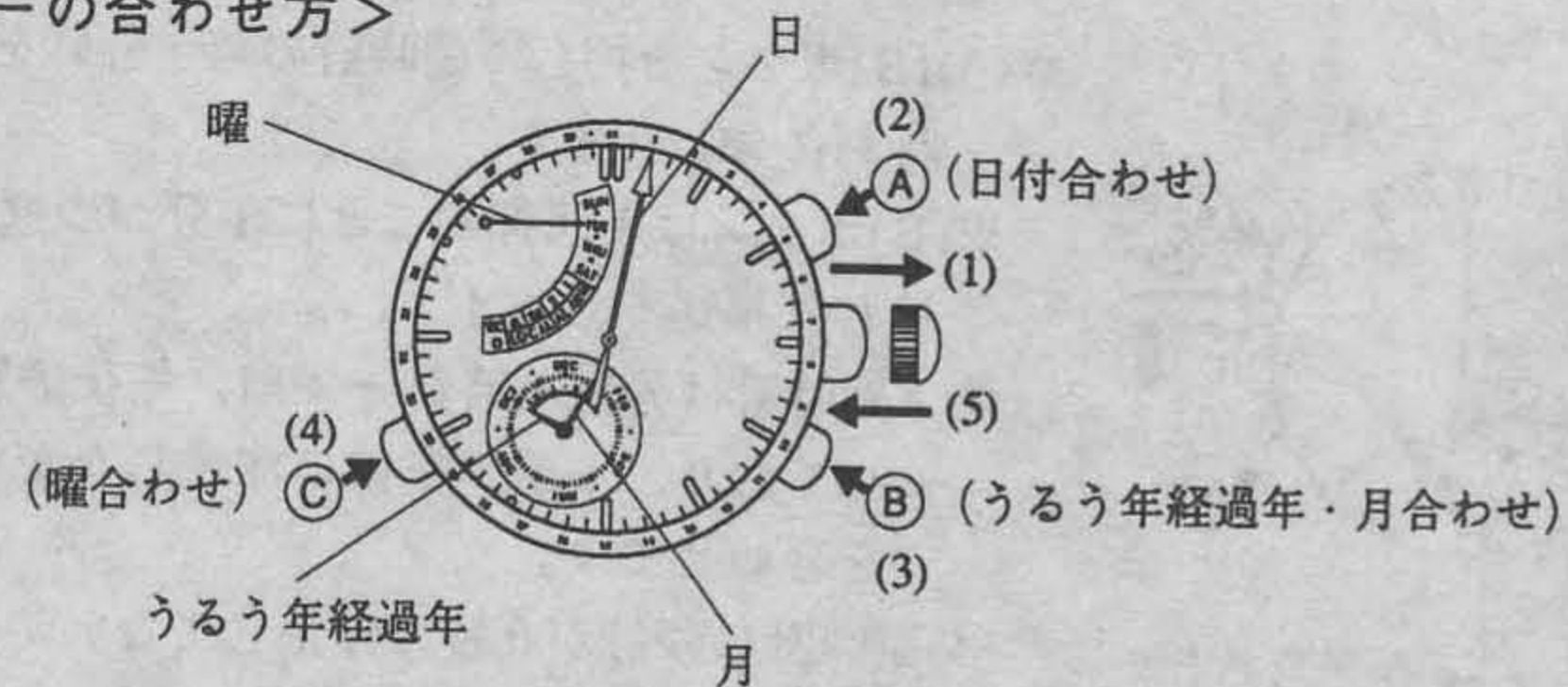
※(B)ボタンは1回押すごとに1分づつ進み、押し続ければ早送りします。

注：副時計は分針→時針→午前／午後識別針と連動しており、午前／午後に注意しながら時・分針を合わせます。

(4)副時計の秒針が0秒に停止してない時は、(A)ボタンを押して秒針を0秒に合わせます。(A)ボタンは1回押すごとに1秒づつ進み押し続ければ早送りします。

(5)時報（TEL117）等に合せてリュウズを通常位置まで押し込めば、正しい時刻を刻み始めます。この時モード針も曜針に切替わって通常表示になります。

E．カレンダー合わせ

<カレンダーの合わせ方>

(1)リュウズを1段引き位置にします。
　この時ローカルタイム時・分針がうるう年経過年・月針に切替ります。
※(A)、(B)ボタンは1回押すごとに針が1つづつ進み、押し続ければ早送りします。
(2)<日付合せ>
　(A)ボタンを押して日針を合わせます。

(3)<うるう年経過年・月合わせ>
・今年がうるう年から何年目に当るかを確認します（下表参照）
・(B)ボタンを押してうるう年経過年→月針の順に合わせます。
　月針とうるう年経過年針は連動しています。

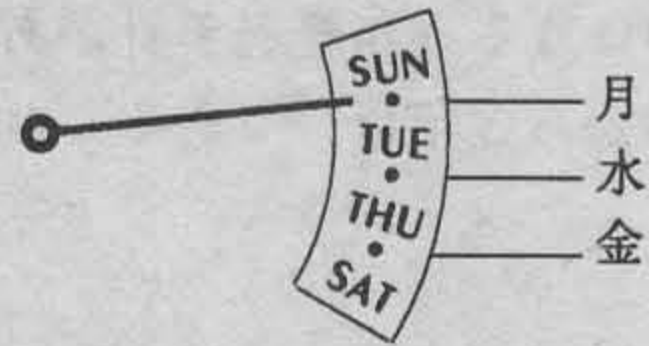
★うるう年経過年表示の見方

図は •-3-• の中にうるう年経過年針があるので“うるう年から3年目”であることがわかります。

★うるう年経過年早見表

1991年	3年目	1995年	3年目	1999年	3年目
92	うるう年	96年	うるう年	2000年	うるう年
93	1年目	97年	1年目	01年	1年目
94	2年目	98年	2年目	02年	2年目

(4)＜曜合わせ＞
・(C)ボタンを押して曜針を合わせます。
・(C)ボタンを１回押すごとに１曜日づつ進みます。早送りはできません。

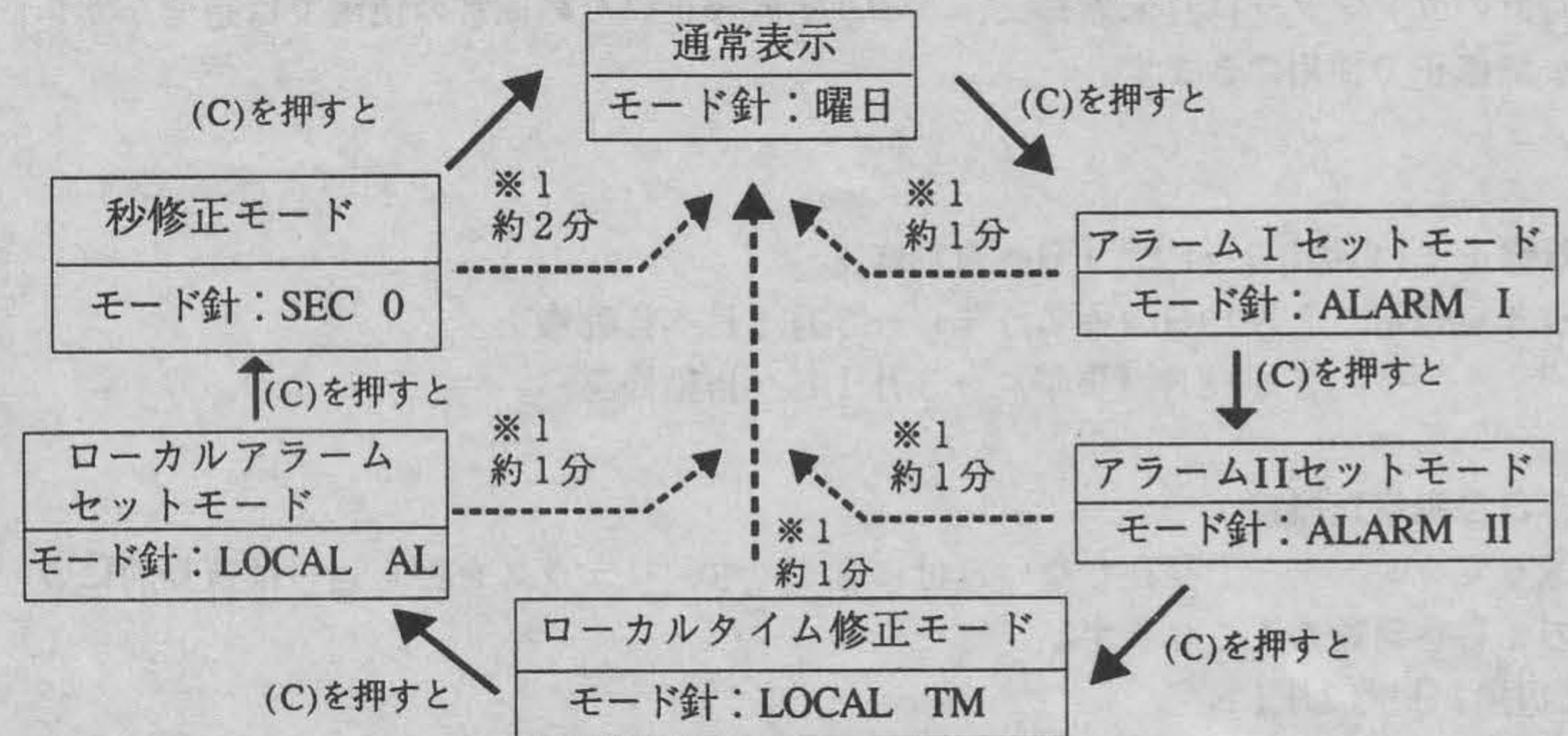
★曜日の見方

図はSUNとTUEの間の点を曜針が示していますので“月曜日”であることがわかります

(5)カレンダー合わせが完了したらリュウズをきちんと通常位置にもどします。
※リュウズ１段引きのままでは翌日になってもカレンダーは切替りません。

カレンダー無修正機能
この時計のカレンダーは月末無修正、うるう年無修正のため通常の使用では完全なカレンダー無修正で使用できます。

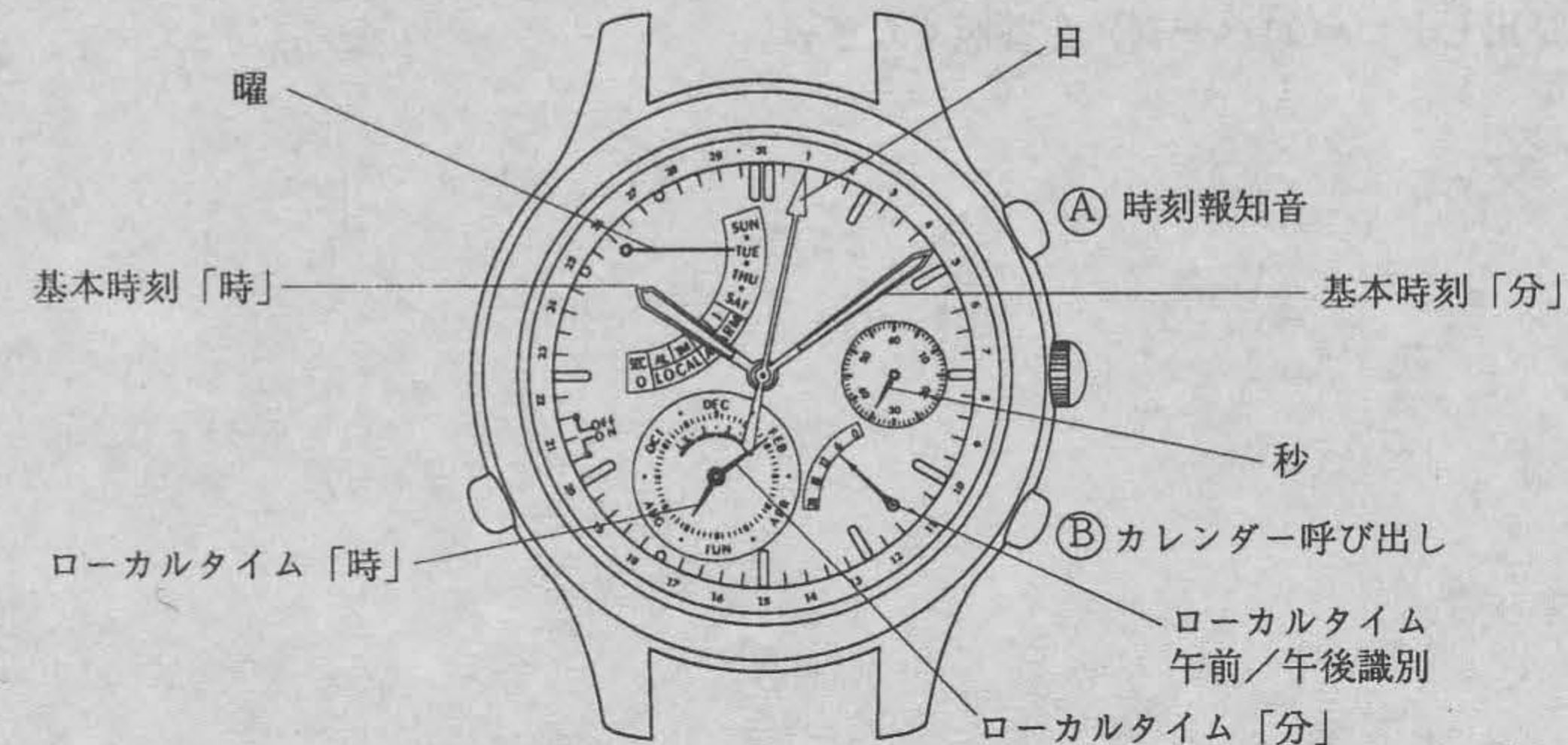
例：
月末無修正：11月30日→12月１日へ自動修正
うるう年無修正：２月29日（うるう年）→３月１日へ自動修正
２月28日（平年）→３月１日へ自動修正

◎非存日自動修正機能
間違ってカレンダー上存在しない日付に合せても、リュウズを押し込めば自動的に翌月の１日へ自動修正されます。
例：11月31日→12月１日
※但し、曜日は切り替わりませんのでご注意ください。

F．各機能モード切替え方

※1．これらのモードの時にボタン操作をしないで放置しておくと自動的に ‥‥▶ 通常表示 にもどります。

G．通常表示

通常の時計表示は下図の様になります。

通常表示例：基本時刻10時09分35秒／1日／火曜日
ローカルタイム午前7時09分

・この通常表示状態で

(A)ボタンを押すことにより時刻報知音が鳴ります―詳しくは「1．時刻報知音」(☞19ページ)を参照ください。

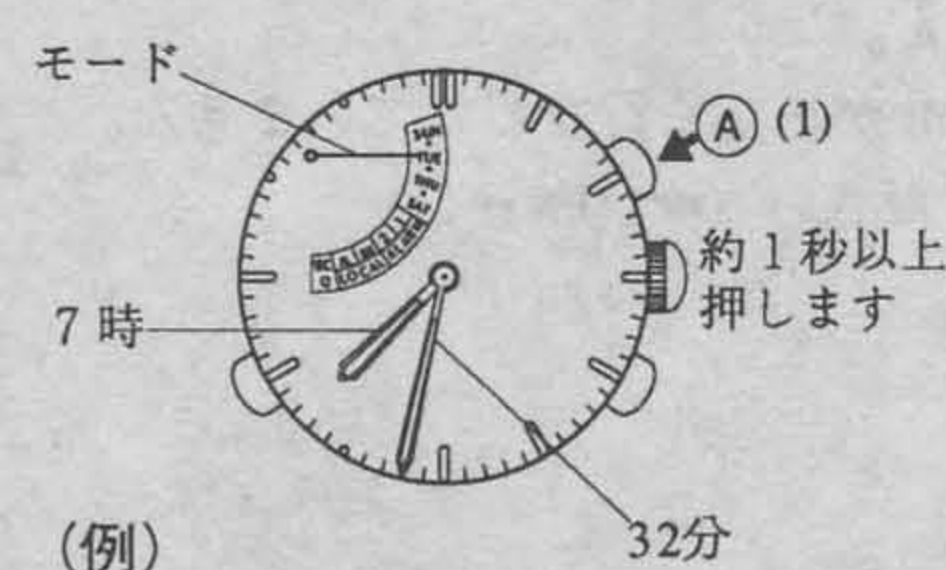
(B)ボタンを押すことによりカレンダー呼び出しができます―詳しくは「2．カレンダー呼び出し」(☞21ページ)を参照ください。

1．時刻報知音

この時計には、時刻を音で知らせる「時刻報知音機能」というユニークな機能があります。暗い場所で時刻が知りたい時等に便利です

・リュウズは通常位置です

※モード針が曜日表示（通常表示）でないとこの機能は働きません

(1)通常表示で(A)ボタンを約1秒以上押すとその時の時刻を報知音で知らせます。報知時刻は12時間制です

7時32分の報知音

1)「高い音」が1秒毎に7回鳴ります（時音7回）：7時

2)「高い音+低い音」が1秒毎に2回鳴ります（15分音2回）：30分

3)「低い音」が1秒毎に2回鳴ります（分音2回）：2分

現在時刻が7時32分であることが音でわかります。

※報知音を途中で止めたい時には、(A)、(B)、(C)いづれかのボタンを1回押せば鳴り止みます。

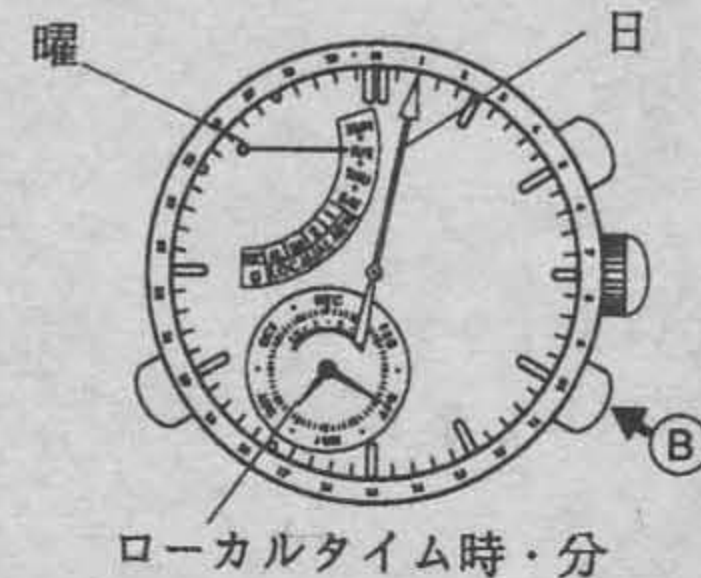
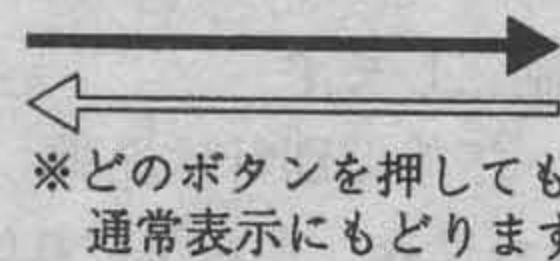
注：

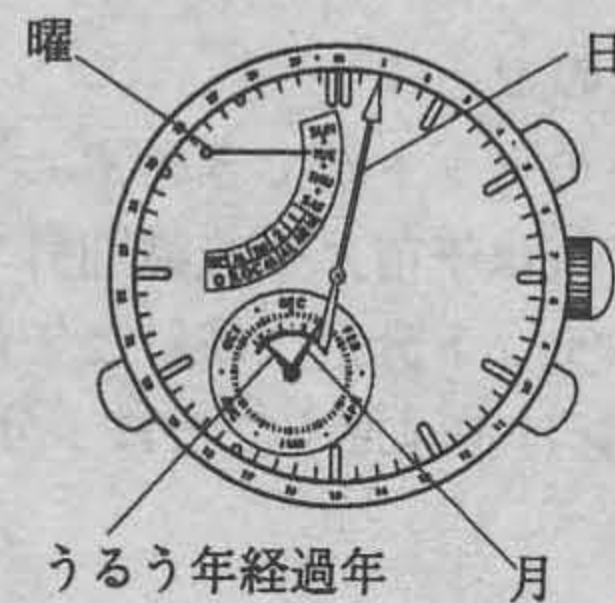
・カレンダー呼び出し中には、この機能は働きません。

・表示時刻と報知音が合っていない時は、時刻合わせが正しく行なわれていません。
「D．時刻合わせ」を参照して合わせなおしてください（☞10ページ）

2．カレンダー呼び出し

この時計のカレンダー機能は通常基本時計の“日”、“曜”を表示しています。
更にボタン操作によって“うるう年経過年”、“月”も呼び出すことができます。

通常表示

＜下図は1日火曜日を示しています＞

カレンダー呼び出し表示

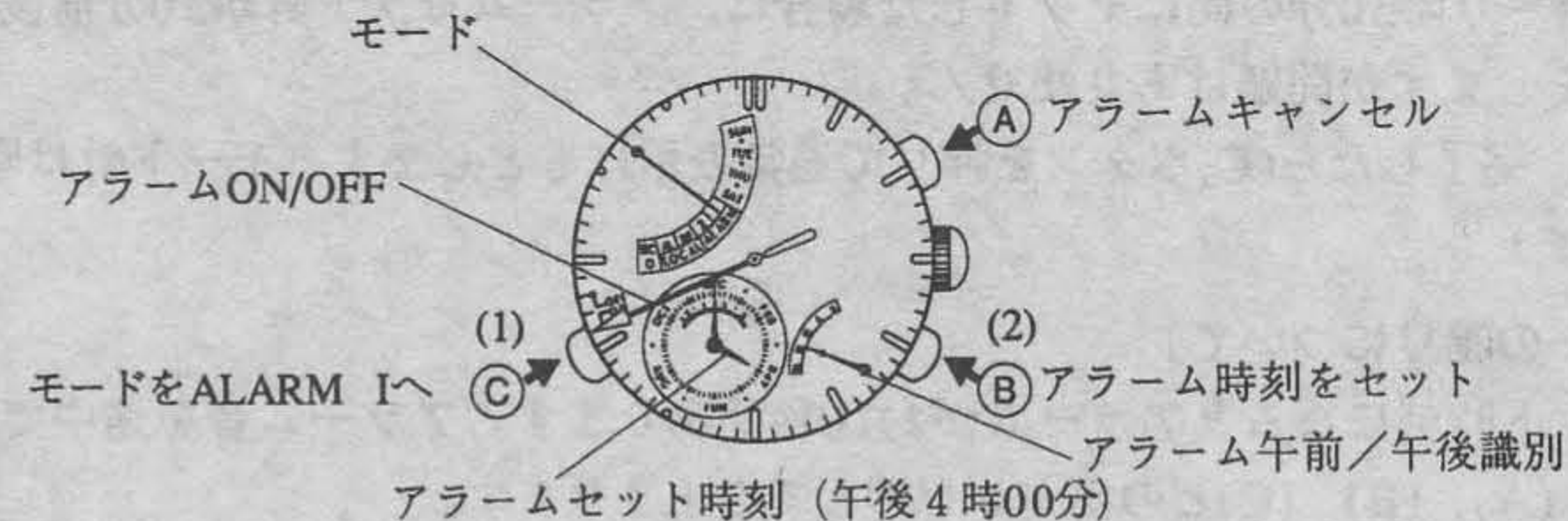
＜下図はうるう年1月1日火曜日を示しています＞

・リュウズは通常位置のままです

・(B)ボタンを約2秒以上押すとローカルタイム時・分針がうるう年経過年及び月に切替わります。

H．アラームI (ALARM I)

（アラームI）・・・・・現在時刻から簡単に目的の時刻（アラームを鳴らしたい時刻）へアラームセットができ、1回鳴り終るとアラームセットは自動的に解除されます。

アラームIのセット

・1分単位のセットができます
・午前・午後は午前／午後識別針で確認します
・アラームセット分針・時針と午前／午後識別針は連動しています
・(B)ボタンは1回押すごとに1分づつ進み、押し続ければ早送りします

・リュウズは通常位置のままです
（例）

今日の午後4時00分にアラームが鳴る様にしたい

(1)(C)ボタンを押してモード針をALARM Iに合わせます。この時、アラームセット針及び午前／午後識別針は現在時刻まで早送りされます。
(2)(B)ボタンを押してアラームセット時・分針を午後4時00分に合せます。この時、午前／午後識別針が午後を示していることを確認します。
※(B)ボタンを押すと同時にアラームON/OFF針がON状態を示します。

注：午前０時～０時30分の間にセットした場合は、アラームセット針が30分前後の往復運動をしますが問題はありません。

(3)セットが、完了したら(C)ボタンを押して通常表示にもどします（モード針は曜表示になります）

〔アラームＩの鳴りについて〕

アラームセット時刻になるとアラームが約10秒間鳴ります。アラーム音を途中で止めたい時には、(A)、(B)、(C)どのボタンを押しても止まります。

★アラームをキャンセルしたい時

・(A)ボタンを押すとアラームON／OFF針がON→OFFに切替ります

※この時、アラームセット時刻は現在時刻にもどります。

※アラームI(ALARM I)モードの状態を約１分以上放置すると、自動的に通常表示にもどります。

Ｉ．アラームII (ALARM II)

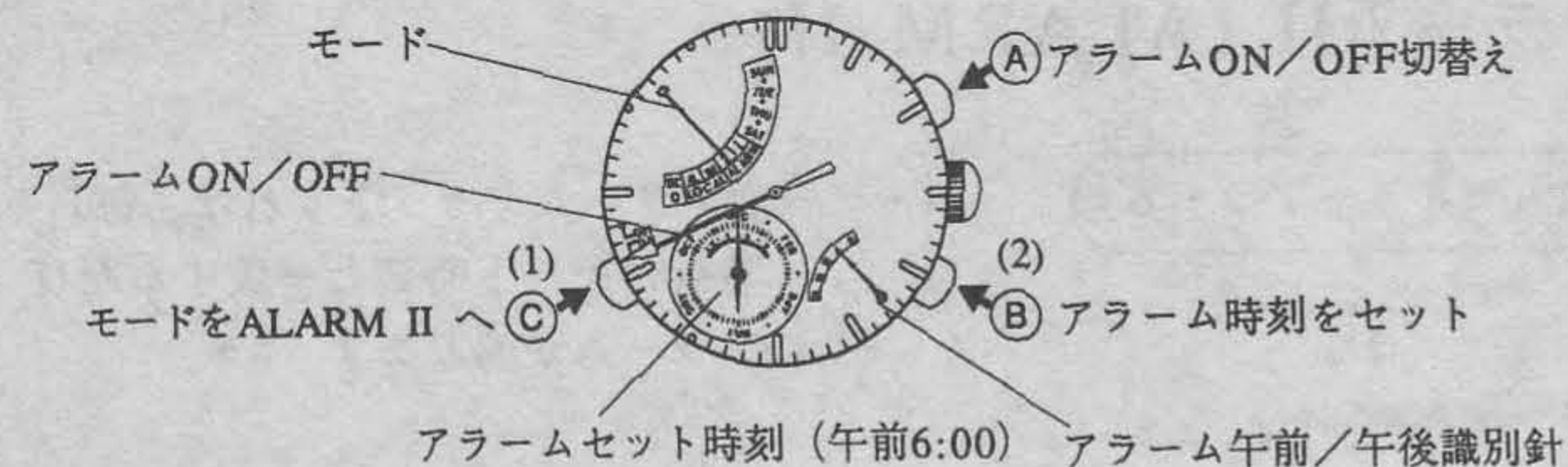
アラームII（デイリーアラーム）・・・・・一度アラームをセットすれば、毎日基本時計がセット時刻と一致するたびにアラームが鳴ります

アラームII（デイリーアラーム）セット

・１分単位のセットができます

・午前・午後は午前／午後識別針で確認します

・アラームセット分針・時針と午前／午後識別針は連動しています

(B)ボタンは１回押すごとに１分づつ進み、押し続ければ早送りします。

・リュウズは通常位置です
（例）

毎日午前６時00分にアラームが鳴る様にしたい

(1)(C)ボタンを押してモード針をALARM Ⅱに合わせます。この時ローカルタイム各針がアラームセット時・分針に又日針がアラームON／OFF針に切替わります
(2)(B)ボタンを押してアラームセット時・分針を午前６時00分に合わせます。この時午前／午後識別針が午前を示していることを確認します。
・(B)ボタンを押すと同時にアラームON／OFF針がON状態を示します。

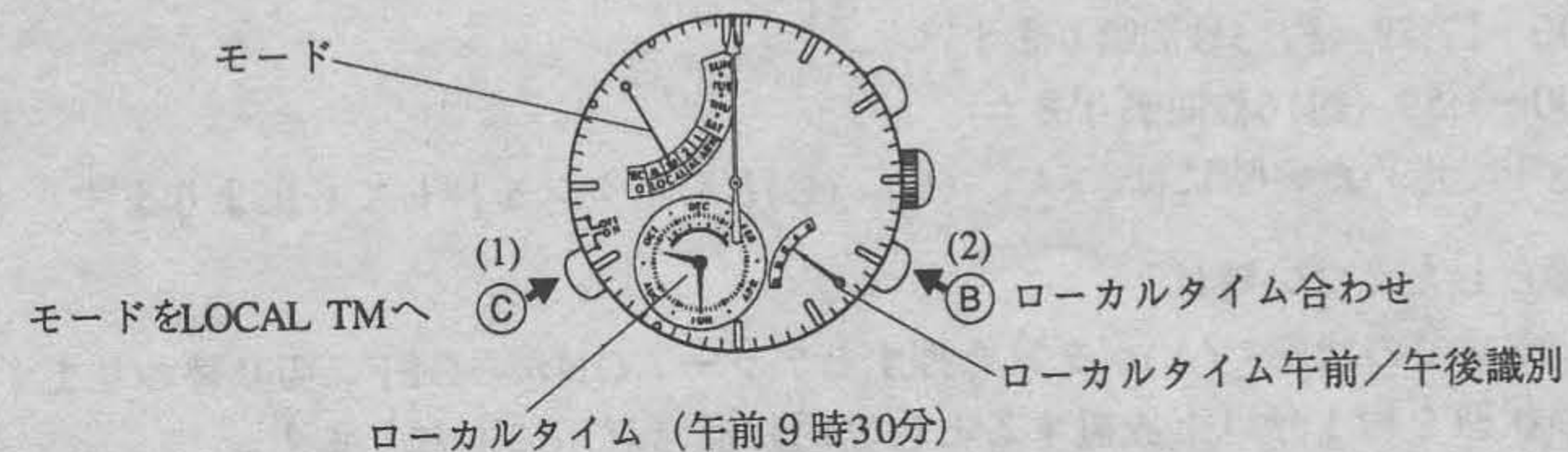
注：午前０時～０時30分の間にセットした場合は、アラームセット針が30分前後の往復運動をしますが問題はありません。
(3)セットが完了したら(C)ボタンを押して通常表示にもどします。

〔デイリーアラーム（アラームＩＩ）の鳴りについて〕
アラームセット時刻になると、このデイリーアラームは朝・昼・夜の時間帯によってそれぞれ違った音が鳴ります
・朝..........4:00～11:59（約14秒間鳴ります）
・昼..........12:00～17:59（約15秒間鳴ります）
・夜..........18:00～3:59（約16秒間鳴ります）
アラーム音を途中で止めたい時には、(A)、(B)、(C)どのボタンを押しても止まります。

★アラームを鳴らしたくない時は
モード針がALARM Ⅱの状態で(A)ボタンを押すとアラームONからOFFに切り替わります。
※このモードの状態を約１分以上放置すると自動的に通常表示にもどります。

J．ローカルタイム(LOCAL TM)の合せ方

ローカルタイムの合わせ方
・30分単位の時差修正ができます。
・ローカルタイム分針・時針と午前／午後識別針は連動しています。
・(B)ボタンは１回押すごとに30分づつ進み、押し続ければ早送りします。

（ローカルタイムセット表示）

・リュウズは通常位置のままです。
（例）

基本時計が東京の現在時刻午後５時30分の時、ローカルタイムをパリの現在時刻午前９時30分に合わせたい。

(1)(C)ボタンを押してモード針をLOCAL TMに合わせます。この時、日針は31日(12時)位置に停止します。
(2)(B)ボタンを押してローカルタイム時・分針を午前９時30分に合わせます。この時午前／午後識別針が午前を示していることを確認します。

注：午前０時～０時30分の間にセットした場合は、ローカルタイム時・分針が30分前後の往復運動をしますが問題はありません。

(3)ローカルタイム合わせが完了したら(C)ボタンを押して通常表示にもどします。
※このローカルタイムセットモードの状態を約１分以上放置すると、自動的に通常表示にもどります。

K. ローカルタイムアラーム(LOCAL AL)

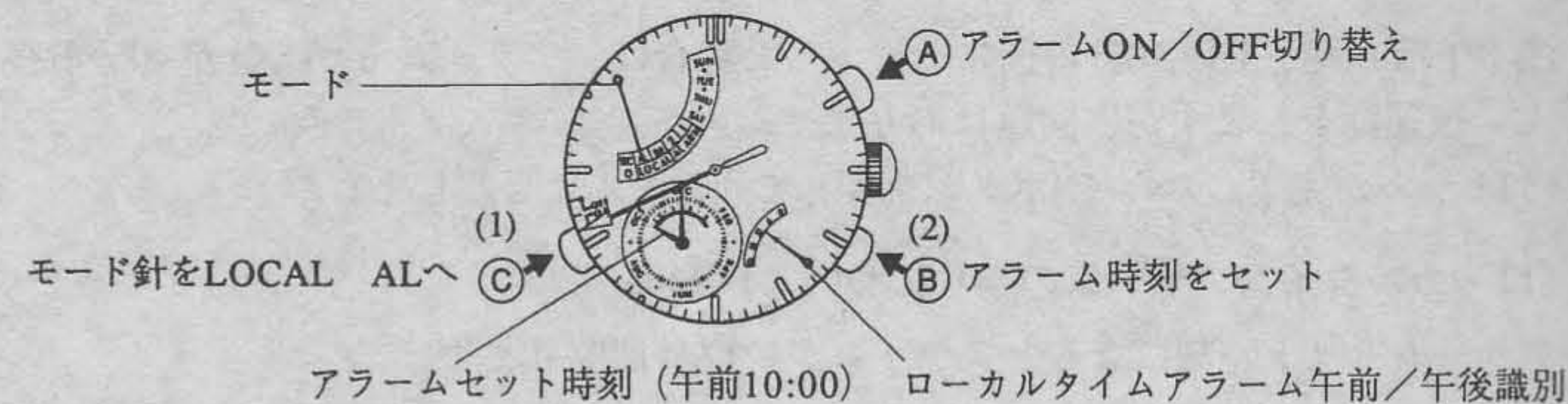
ローカルタイムアラーム（LOCAL AL）・・・・ローカルタイムにおいて一度アラームをセットすれば、毎日ローカルタイムがセット時刻と一致するたびにアラームが鳴ります。

ローカルタイムアラームのセット

・１分単位のセットができます

・午前・午後は午前／午後識別針で確認します

・アラームセット分針・時針と午前／午後識別針は連動しています

・(B)ボタンは１回押すごとに１分づつ進み、押し続ければ早送りします

・リュウズは通常位置のままです

（例）

パリ時間午前10時00分にアラームが鳴る様にセットしたい

(1)(C)ボタンを押して、モード針をLOCAL AL に合わせます。
この時、ローカルタイム各針がアラーム時・分針に、又日針がアラームON／OFF針に切り替ります。

(2)(B)ボタンを押してアラームセット針を午前10時00分に合わせます。この時、午前／午後識別針が午前を示していることを確認します。

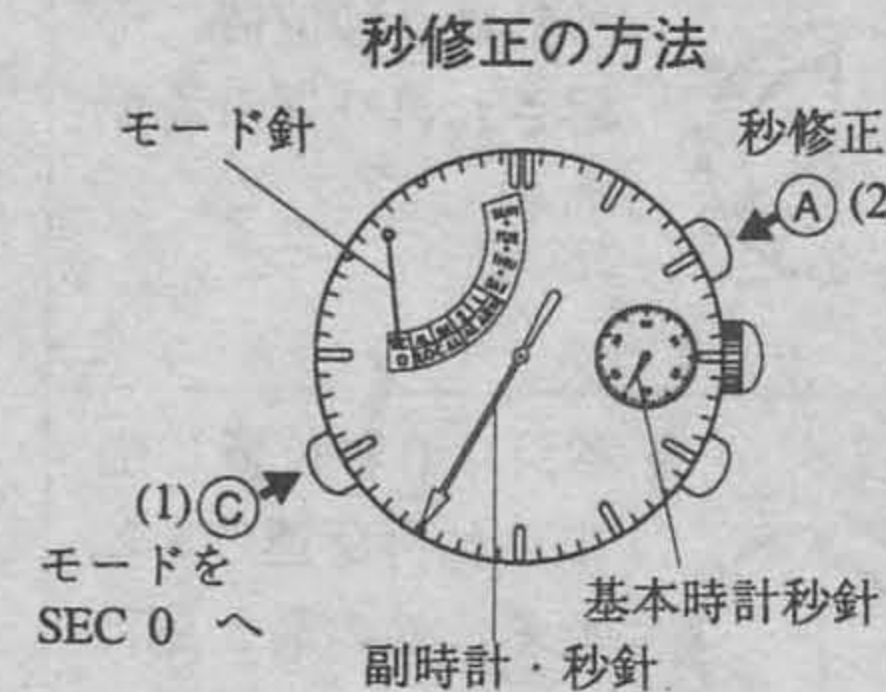
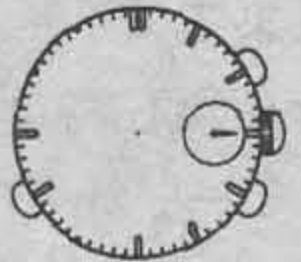
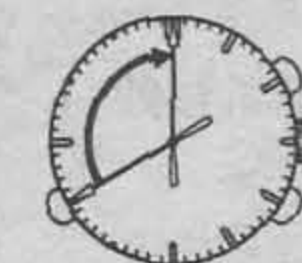
・(B)ボタンを押すと同時にアラームON／OFF針がON状態を示します。

注：午前０時〜０時30分の間にセットした場合は、アラームセット針が30分前後の往復運動をしますが、問題はありません。
(3)セットが完了したら(C)ボタンを押して通常表示にもどします。

〔ローカルタイムアラームの鳴りについて〕
アラームセット時刻になるとアラームが約16秒間鳴ります。
※アラーム音を途中で止めたい時には、(A)、(B)、(C)どのボタンを押しても止まります。

★アラームを鳴らしたくない時は
モード針がLOCAL ALの状態で(A)ボタンを押すとアラームのON→OFFに切替えられます。
※このローカルタイムアラームセットモードの状態を約１分以上放置すると自動的に通常表示にもどります

L．秒修正（SEC 0）

秒を修正したい時は、次の“秒修正”操作で容易に秒修正ができます。

・リュウズは通常位置のままです
基本時計と副時計の両秒針を現在時刻に合わせます
(1)(C)ボタンを数回押してモード針を“SEC 0”に合わせます。
この時、日針が副時計の秒針に切替って１秒運針します。
(2)時報（TEL117）等に合わせて(A)ボタンを１回押すと２つの秒針は次ページの図の運針をして正しい時刻を刻み始めます。
(3)秒修正が完了したら(C)ボタンを押して通常表示にもどします。
（モード針は曜表示になります）
※この状態で２分以上放置しておくと自動的に通常表示にもどります

	修正時の秒針位置	
	秒　針（基本時計）	秒　針（副時計）
0秒～29秒	・秒針は停止する。副時計の秒針が、停止している秒針の位置まで来ると、再び同時に運針し始める	・秒針は0秒位置に帰零され再び運針を始める
30秒～59秒	・秒針は0秒位置に帰零され、再び運針を始める。この時基本時計の分針も1分進められる	・秒針は0秒位置に帰零され再び運針を始める。この時、副時計の分針も1分進められる

M．サウンドモニター

（サウンドモニター）・・・・この時計のアラームＩ、アラームII（ディリーアラーム）、ローカルタイムアラームのそれぞれのアラーム音を容易に確認できるのが、このサウンドモニターです。

・リュウズは通常位置です

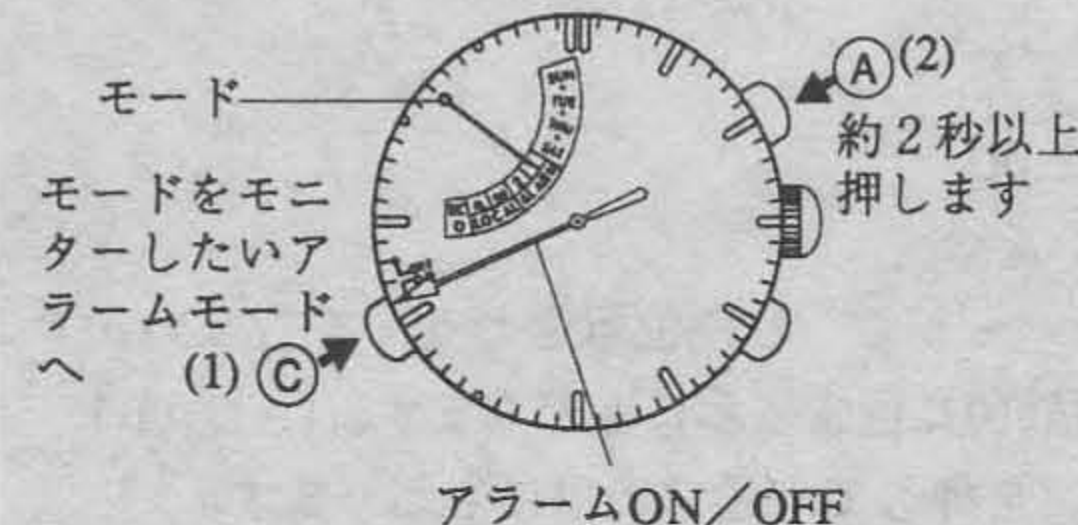
(1)(C)ボタンを押してモード針をモニターしたいアラームセットモード（アラームＩ／アラームII／ローカルタイムアラーム）に合わせます

(2)(A)ボタンを約2秒以上押すとサウンドモニターができます

サウンドモニター

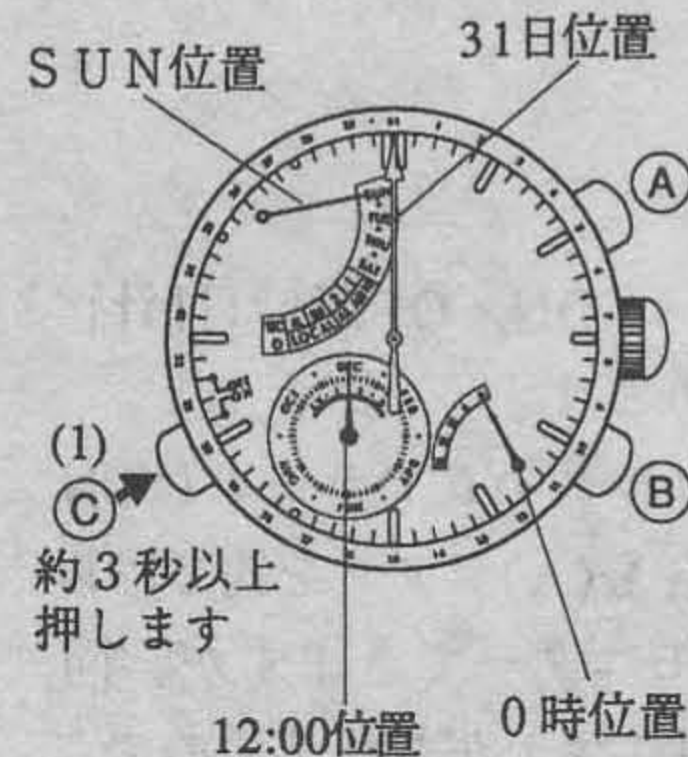
注：

・アラームＩはアラームON／OFF針（日針）がOFFの時だけ鳴ります。

・アラームII：ローカルタイムアラームはON／OFFいづれの場合も(A)ボタンを約2秒以上押すとサウンドモニターできますが、同時にON／OFFの切り替えがされますのでご注意ください。

N．初期位置の確認

初期位置の確認・・・・・カレンダー／ローカルタイム／各種アラーム機能に使われる各針が正しく作動できる状態（初期位置）になっているかどうかを確認します。

初期位置の確認方法

SUN位置
31日位置
Ⓐ
Ⓑ
(1)
Ⓒ
約３秒以上押します
12:00位置
0時位置

・リュウズは通常位置のままです

※この操作はモード針の位置に関係なくできます

(1)(C)ボタンを約３秒以上押した時、各針が図の位置を示すことを確認します。

日針：３１

曜針：ＳＵＮ

ローカルタイム：12:00

午前／午後識別針：ＡＭ

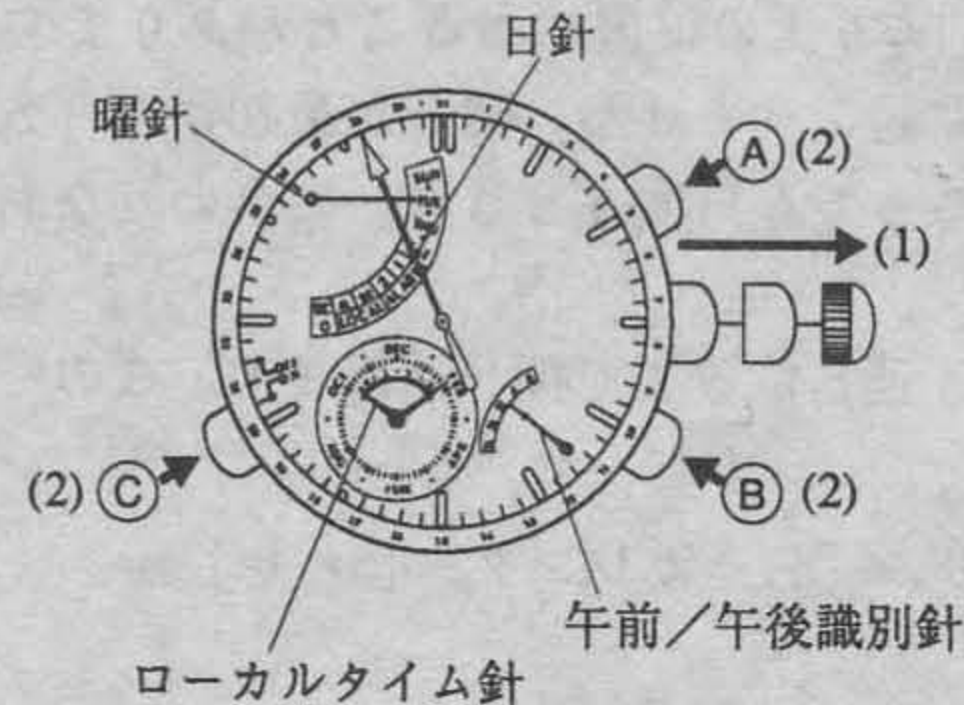
示していない場合→次ページの"初期位置合わせ"を行ないます

※約20秒経過すると自動的に通常表示にもどります。(A)、(B)、(C)のいづれのボタンを押しても通常表示にもどります。

O．初期位置合わせ

初期位置合わせが正しくできていないと各種機能が正しく作動しません。この様な場合には、次の手順で初期位置合わせを行なってください。

※電池交換を行なった場合もこの初期位置合わせが必要です。

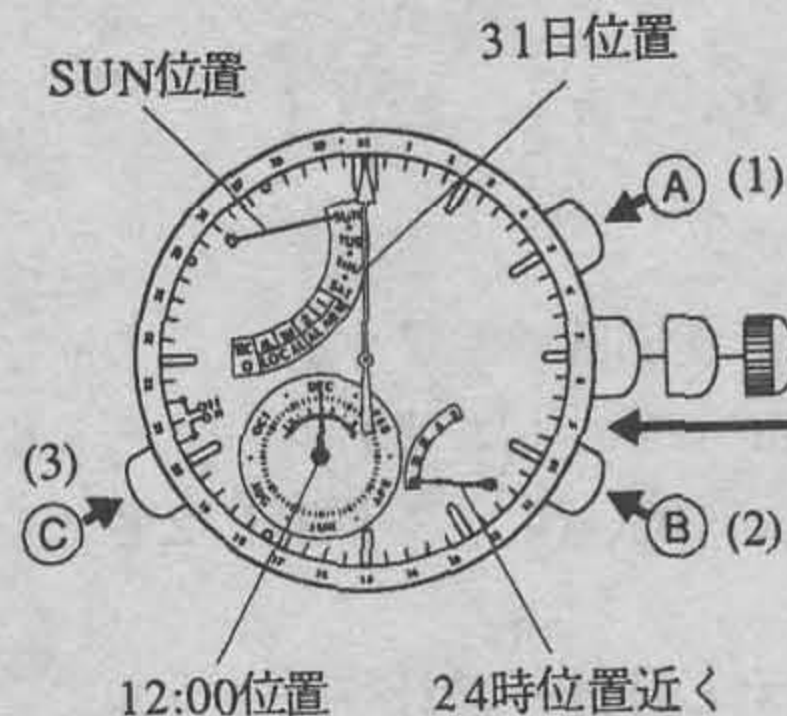
<オールリセットします>

(1)リュウズを２段引き位置にします。（この時モード針が SEC 0を示します）

(2)ボタン３つ（(A)、(B)、(C)）を同時に２秒以上押します。

(3)ボタン３つを離すと日針→曜針→ローカルタイム針／午前／午後識別針の順に各針が作動すればオールリセットされたことになります。（この時、確認音が鳴ります）

・リュウズは２段引きのままです

＜初期位置合せ＞

SUN位置　31日位置
Ⓐ (1)
(4)
(3) Ⓒ
Ⓑ (2)
12:00位置　24時位置近く

(1)(A)ボタンを押して日針を「31日」（12時位置）に合わせます。

(2)(B)ボタンを押して午前／午後識別針を「24時近く」にしてローカルタイム針を「12時00分」に合わせます。

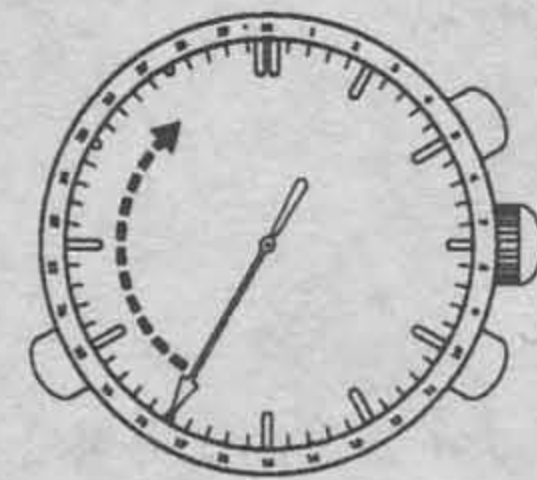
(3)(C)ボタンを押して曜針を「ＳＵＮ」に合わせます。

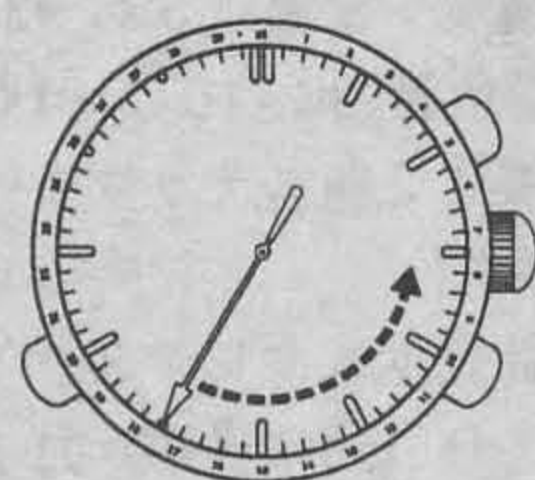
※曜針が「ＳＵＮ」より上の位置に出ることがありますが通常の使用では起こりません。曜針が最初から「ＳＵＮ」の位置にあっても再度「ＳＵＮ」に合わせなおします。

(4)リュウズを必らず通常位置まで押し込みます。この時、午前／午後識別針が０時を示せば完了です。

・本文中の「Ｄ．時刻合わせ」(☞10ページ)および、「Ｅ．カレンダー合わせ」(☞12ページ）を参照して修正してください。

Ｐ．この様な場合には

１．日針が正回転で早運針してしまう

・これは初期位置合わせ後に副時計の時・分針合わせをしないと起る現象です。（時刻合わせ未完了警告表示）
この様な場合には本文「Ｄ．時刻合わせ」(☞10ページ)を参照して合わせなおしてください。

２．日針が逆回転で早運針してしまう

・これは、初期位置合わせができていないことを知らせる機能が働いているためです。（初期位置合せ未完了警告表示）
この様な場合には、本文「Ｏ．初期位置合わせ」(☞37ページ)を参照して合わせなおしてください。

Q．製品仕様

1．型式：アナログクオーツウオッチ（多針）
2．水晶振動数：３２，７６８Ｈｚ
3．時間精度：常温（５℃～35℃）において平均月差±20秒以内
4．作動温度範囲：-10℃～+60℃（14° F～140° F）
5．変換機：２極ステップモーター４個
6．付加機能

・指針表示式カレンダー
曜・日（通常表示）月・うるう年経過年（ローカルタイムとの切り替え表示）
月末・うるう年自動修正
・アラームⅠ…セットした時刻に一回だけアラーム音が鳴る機能
・アラームII…毎日セットした時刻にアラーム音が鳴る機能（デイリーアラーム）
・ローカルタイム…時・分・（午前／午後識別）表示、30分単位のセットができます
・ローカルタイムアラーム…ローカルタイムにおいて毎日セットした時刻に
アラーム音が鳴る機能

※アラームⅠ・II、ローカルタイムアラーム共に１分単位のセットができます
・時刻報知音…２種類の音の組み合わせにより現在時刻の時、分を音で報知する機能
・サウンドモニター…アラームⅠ・II・ローカルタイムアラームの音を確認できる機能
・その他…時刻合わせ未完了警告表示、初期位置合わせ未完了警告表示

7．使用電池：小型銀電池１個、電池番号：２８０－４４（ＳＲ９２７Ｗ）
8．電池寿命：約２年

※・アラームⅠ（10秒）…１回／２日
・アラームII（16秒）１回／日
・ローカルタイムアラーム（15秒）１回／４日
・時刻報知音（17秒）１回／日
※使用頻度および音の鳴り時間により電池寿命は異なります

9．使用ＩＣ：Ｃ－ＭＯＳ－ＬＳＩ　１個

F．取扱い上のご注意

1．防水性について（お確かめください）

	裏ぶた	文字板
非防水	——	——
日常生活用防水	この文字が表示されています。	——
日常生活用強化防水（5気圧防水 10気圧防水）		WATER RESIST ※※※

＊日常生活用強化防水（5気圧防水、10気圧防水）の場合、文字板にWATER RESIST ※※※と表示してあります。(一部デザイン上の都合で文字板上に表示のないものもあります)

＊5気圧防水——5 bar

＊10気圧防水——10bar

と表示されています。

※リュウズは常に押し込んでご使用ください。	洗顔や雨などにより一時的にかかる水滴。	水仕事・水泳・洗車・ヨット・水上スキーなど。	スキンダイビング（素もぐりなどの潜水）	スキューバダイビング（ボンベを用いる潜水）	水滴がついた状態でのボタンの操作。
非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水（5気圧）	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水（10気圧）	○	○	○	×	×

海で泳いだ後には

- 時計は真水でよく洗い、海水などによるサビがでないようにしてください。
- 洗ったあとはよく拭いてください。

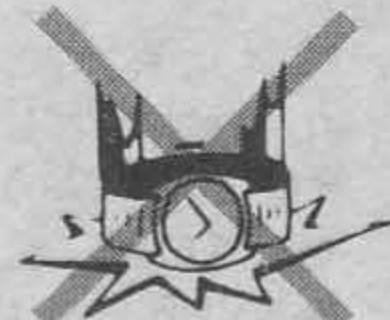
時計の内部にも多少の湿気が有りますので、外気が時計内部の温度よりも低い時にはガラス面が曇る場合があります。曇りが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合はお買い上げ店、又はシチズン取扱い店にご相談ください。

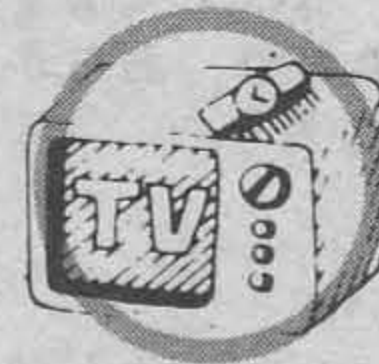
2. 温度について

直射日光にさらしたり、高温になる所に長い間置かないでください。
＊故障の原因になったり電池寿命が短くなります。

寒い所に長く置かないでください。
＊多少遅れが生ずることがありますが腕につければもとの精度にもどります。

3. ショックについて

ゴルフやキャッチボール程度のショックでは影響を受けません。

床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

4. 磁気について

テレビ・ステレオなど家庭用電気製品による影響はありません。

磁石には近づけないでください。
磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・電動マージャン台等、磁気に近づけますと一時的に進み遅れがあります。この場合は時刻修正をしてください。

5. 化学薬品・ガス・水銀について

化学薬品・ガスの中でのご使用はおさけください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・トイレ用洗剤・接着剤等）が時計に付着しますと変色、溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また体温計等に使用されている水銀に触れたりしますとケース・文字板・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

6．皮バンドについて

防水機能を有した時計で皮バンド付きの時計は、取扱いにご注意下さい。水の中で使う事が多い場合は、脱色、接着はがれなどの不具合を起こす場合がありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製又はゴム製）にお取り替えの上、ご使用下さい。

7. 時計は清潔に

●ケース・ガラスについた汚れや水分は柔らかい布で拭きとってください。
●バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れをそのままにしておきますと体質上皮膚の弱い方はかぶれる場合もあります。その状態での使用はすぐに中止してください。
●又、ワイシャツなどの衣類の袖口を鉄サビによるシミで汚すことがありますので、サビの原因になる汗や埃などの気づかぬ汚れに対してもご注意の上常に清潔にしてご使用ください。
●バンドは多少余裕をもたせ通気性を良くしてご使用ください。
(指一本入る位が適当です。)
● 時々汚れを取りご使用ください。
ご使用の間には、ケースとリュウズの間にゴミや汚れが付着して、リュウズが引き出しにくくなることがあります。リュウズが押し込まれた状態で時々リュウズを空回りさせてください。

〔金属バンド〕
石けん水等をつけた歯ブラシで部分洗いしてください。
〔皮バンド〕
表側は柔かい乾いた布で軽く拭き取り裏側はアルコールでしめした布で汚れを取ってください。
〔プラスチックバンド／ゴムバンド〕
水で汚れを洗い落としてください。
(溶剤類の使用は、変質の恐れがありますので避けてください。)

G．保証とアフターサービスについて

1．保証について

正常なご使用状態で、保証期間中に万一故障が生じた場合には、別紙の保証書に従い、無料修理致します。

2．修理用部品の保有期間について

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・リュウズ等の外装部分におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3．修理可能期間について

通常のご使用であれば、保証期間を過ぎても、当社の修理用部品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なりますので、修理の可否については現品ご持参のうえ販売店でよくご相談ください。尚、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4．ご転居、ご贈答品の場合

保証期間中にご転居、又はご贈答品のためにお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

5.長くご愛用いただくために定期的な診断と部品の交換を行なってください。

- 部品交換は、お買い上げ店、又はシチズンクオーツ取扱い店にお申し出ください。
- 部品交換の際は、交換だけでなく他の部品の点検、又は修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、又はシチズンクオーツ取扱い店にご相談ください。
- 部品交換をされる場合は、「シチズンの純正部品を使用」とご指定ください。

<防水時計専用部品の交換について>

防水時計の場合、防水性を保つために1～2年毎にお買い上げ店、又はシチズンクオーツ取扱い店で診断していただき、パッキン・ガラス・リュウズなどの交換を行なってください。

<電池交換について>

- この時計は新しい電池を組み込み後、約2年間安定した精度を維持します。
- お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後2年に満たないうちに寿命が切れることがありますのでご了承ください。

●電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがありますのでお早めに電池交換してください。
●電池交換は必ずお買い上げ店、又はシチズンクオーツ取り扱い店にお申し出ください。その際、所定の性能を保つためにも必ずシチズン純正電池とご指定ください。
●お買い上げの時計に、組み込まれている電池はモニター用ですので、時計の価格には含まれません。保証期間内であっても電池交換は有料となります。

＜電池の取り扱いについて＞

幼児の手が届かない所に置いてください。万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師と相談してください。

6．一部商品にはメーカーで電池交換および修理を行なっているものがあります。詳しくはお買い上げ店、又はシチズン取扱い店にご相談ください。

7.その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明の点がございましたらお買い上げ店、又は最寄りの当社サービスセンターにご相談ください。